

2010年度 全国「学力・学習状況調査」実施に関する問題点の集約

鹿児島県教職員組合 6/18 現在

支部	小学校
鹿児島	35
南薩	9
北薩	22
始良	10
大隅	27
熊毛	3
奄美	19
計	125

【中学校】

*小中併設校については、小学校でカウント

*特別支援学校はサンプル数が少なく今回は、集計に入れなかった

*数値のパーセントは、小数第1位を四捨五入したがって、計が100%にならないところもある。

*自由記述に記してある数字は、整理番号(提出分会)

【I 抽出・希望利用調査に関する実態】

- 1 あなたの学校は、4月6日時点で「抽出か希望利用」のどちらの実施形態か全職員に明らかになっていましたか。

		計	%	明らかにされてい	な	不明
				た	かった	
ア	抽出による実施	62	50	58	0	4
イ	希望利用による実施	60	48	43	15	2
ウ	その他	3	2	0	0	0
	未記入	0	0	0	0	0
	合計	125	100			

- 2 採点業務は、自校採点ですか。外部委託ですか。

		計	%
ア	学校で採点する	50	40
イ	地教委が採点する	9	7
ウ	外部(業者等)委託する	49	39
	未記入	17	14
	合計	125	100

- 3 「全国学力・学習状況調査」の実施日は、いつですか。

		計	%
ア	4月20日と地教委が決めていた。	98	78
イ	特に指定はなかったが、学校で4月20日に決めた。	19	15
ウ	学校で話し合っ、4月20日以外に決めた。	0	0
エ	その他	4	3
	未記入	4	3
	合計	125	99

4 調査実施後の結果の公表について、どのような確認になっていますか。

		計	%
ア	自校採点・分析をして学校の判断で公表するようになっている。	16	13
イ	地教委採点で、地教委の判断で公表するようになっている。	5	4
ウ	外部(業者等)委託の結果が返送されてから学校判断で公表するようになっている。	12	10
エ	実施日時点では、どのような公表にするのか確認していない。	63	50
オ	その他	18	14
	未記入	11	9
	合計	125	100

【Ⅱ 実施後の問題点に関する実態】

1 実施前の問題点

- (1) 調査実施日に合わせて学年末、春休み、新学期開始の時期等に「全国一斉学力調査」対策と思われるようなプリントや過去問題のコピーなどを用いた指導(持ち帰りの課題指示等も含む)はありませんでしたか。

		計	%
ア	あった	30	24
イ	なかった	77	61
ウ	把握していない	18	14
	未記入	0	0
	合計	125	99

- ・しないように職員会議で注文をつけたが、春休みに出しているかも。 33
- ・春休みに過去問題を管理職が配布した。 46
- ・過去問を数学でさせていた。 59

- ・県内の基礎基本定着度調査において、昨年度の問題をさせている教員がいるので、もしかしたらいるかもしれない。 81
- ・過去問をさせる。 111
- ・昨年より、過去問対策を徹底していると聞いている。 114
- ・昨年度の問題を事前に一部配った。 125

(2) 管理職から、「全国一斉学力調査」のために事前学習を強化するような発言や指示はありましたか。

		計	%
ア	再三にわたってあった	0	0
イ	数回あった	9	7
ウ	全くなかった	89	71
エ	把握していない	25	20
	未記入	2	2
	合計	125	100

- ・調査のためにはと言わないが、年度末に NRT の分析を校長が行い、前年度の生徒の弱いところの補充問題をさせようとしていたり、11月に学力調査結果の弱いところの補充プリント 20 枚程度を作成し配布した。特に回収はしなかった。 4
- ・「意識してほしい」程度 5
- ・前年度内に前年度の分析をして弱いところを重点にとりくむこと。 18
- ・「・・・があるのでしっかり復習を・・・」みたいな発言。その教科しか関係ないので、みんな、聞いてない感じ・・・。 74
- ・全体ではなかった。
- ・年間を通して学力向上を徹底してされている。具体的発言等は事務職員の私には、分からない。 14
- ・「取り組んでください」程度の声かけ 116
- ・「こういう問題があるから、頑張らせてください」との発言など 125

2 実施上の問題点

(1) 本年度から全国悉皆調査から抽出・希望利用調査に変更になったことによる変化が、何かありましたか。

		計	%
ア	あった	15	12
イ	特に変らない	85	68
ウ	分からない	21	17
		4	3
	合計	125	100

- ・希望利用のため採点に時間をとられるうえ、分析させられ、4/20の実施を地教委から強制するなど問

- 題が多い。 4
- ・採点の負担が増えた。 7
- ・自校採点により負担が増えた。 13
- ・採点の扱い 5/13 現在、管理職から採点の正式な依頼もないため、数学・国語とも答案はそのまま。教科担には、それとなくあったらしいが、全体の中で何もないので(説明)が、そのまま経過を見ている。ただ、解答例の冊子は、教科に渡されている。 14
- ・指示通りの対応であった。当事者としての認識はなかった。 26
- ・行事予定には、入れてあったが、採点方法、実施後の処理の仕方等、何もわからず、実施直前に自校採点がわかった。3年部職員はやる気を失っている。 28
- ・1日で5時間続けてのテストで、生徒がつかれていた。 29
- ・採点を学校の教員がすることになり、仕事の負担が増えた。また、分析までするとすると相当の仕事増であ。 44
- ・各教科が採点している状況に疑問を感じている。 49
- ・採点方法、採点時期。 76
- ・保護者の理解が得にくい。 83
- ・解答採点を教科(数学・国語)だけでなく、他教科職員が担当した。 84
- ・市教委が予算をつけて市内中学校全て(4校)希望で受けることになったと説明あり。 100
- ・自校採点になって忙しかった。負担が大きい。 106
- ・採点業務が現場の負担。 115
- ・さつま町は抽出校以外もすべて実施された。採点を学校の職員でやるので負担が大きくなった。特に、国語のB問題の採点は、記述されたものを採点するので手こずった。

3 実施に伴う子どもの負担について

- ・新学期になったばかりで、標準学力、NRTや全国学力など、学級づくりもまだ、できていない中で、テストが多すぎる。家庭訪問などもあり多忙。 4
- ・4/9、4/12と標準学力検査もあり、負担が大きいように思う。5/6には、3年生は、校内実力テストもひかえておりテストが続く。 6
- ・特に何かしているわけではないので、大きな負担はないが、テストに時数をとられる分余裕はなくなる。 7
- ・1日使うので大変である。 8
- ・1~4月当初は、テストが続く(基礎基本→学年末→知能検査→標準学力→全国学テ→中間)
- ・特に意識はしていないようではあるが、標準学力テストもあったばかりで、テストが多いという感じはもっていると思われる。 10
- ・子どもたちは、実施の意義もよく分からないまま、受けさせられたと思う。 17
- ・ほとんどの学校が希望して、特に変わっていないのではないか。 18
- ・NRTに続き、学力調査・実力テストと子どもたちはテスト続きで負担が大きい。 20
- ・1日で5時間続けてのテストで生徒がつかれていた。 29
- ・1日中テストで気持ちの上で疲労感が・・・ 30

- ・標準学テ、学テ、知能検査等、始業式後毎日があわただしく過ぎ、生徒も気分的に滅入っていた。 33
- ・年度始めの検査が多い。 34
- ・1日5時間ぶっ通しの実施なので、子どもの集中力が欠け一本調子。 35
- ・その日だけ来ない生徒がいた。(テスト嫌い、学力不振者) 38
- ・午前中ずっとテストで大変そうでした。 40
- ・中学3年生は、知能検査やNRT学力検査が終わってすぐに4時間連続の無意味な「全国一斉学力調査」を受けることになって、かなり、疲れていた。 43
- ・NRTや知能検査、学力調査など調査がめじろ押しであり、検査漬けになっている。 44
- ・疲れが見えた。4時間連続は、厳しい。 46
- ・3年生は、学期はじめに標準学力テスト～全国テストと同じようなテストが続き、意味もわからないままやらされている。うんざりしている様子。 49
- ・標準学力検査、全国一斉学力調査を含め、検査まみれの状態で生徒の学習意欲の向上にはつながっていない。 52
- ・子どもはテストになれているか。1日ずっとというのは辛い。 58
- ・ありのままにされていて、当たり前のことと受け止めているようだ。(標準学力・知能検査等と同じ反応)
- ・標準学力検査・知能検査と続いてあるのでかなりの負担になっている。 63
- ・ないとは思いますが、授業には支障がある。 66
- ・4月初めに標準学力を実施しているので、1ヶ月に2回もテスト。 69
- ・時数確保の観点から不要と思われる。 76
- ・年度の初めの大事なところに貴重な時間をとられたこと。 80
- ・新年度早々5校時まで、ずっとテストでとても疲れていた。 81
- ・教育課程上も時数確保の面でいかななものか?標準学テ、全国学テ、そして、県の基礎基本定着度調査。テストばかり・・・教育施策にどの程度反映されているかわからないが、子どもにとっては多すぎると思う。 82
- ・実力テストと連続になった。 83
- ・家庭訪問の日程 86
- ・NRTもあり、学年はじめとして、必要なのか疑問を感じる。 89
- ・4月に入ってすぐ大きなテストが重なり、子どもたちに心的ストレスがあるのか無気力感がみられるように思う。 93
- ・標準学力テスト、知能検査を校内で毎年実施している。同じ時期に子どもにとっては、「前回もテストがあったのに、また、これもするの?何のために?」というつぶやきが出て当然だろう。しかも、年度当初は、子どもにとっても係決めや給食当番、掃除当番などの決めごとの活動時間に加え、学級目標や個人目標などを考え、話し合い、決めて、学級設営作成などもあり、忙しい。以上のことから全国学テの必要性を疑問視している。 94
- ・中3の子どもは「テストばかりで疲れた」と言っていました。 98
- ・1日で実施するためしんどそうである。 100
- ・標準学力検査、知能検査、AAI、全国学テ、定期テスト等、テストが重なって大きな負担になっていると思う。 99
- ・忙しい時期に検査が続く。 101

- ・調査を受ける意欲がみられない生徒がいた。「〇〇テスト」が多い。 104
- ・教科の時数が奪われてしまう。4月は標準学テもあり同じようなテストばかりで、授業がつぶれてしまう。 107
- ・一日中で大変。 110
- ・NRTのあとに全国学テと3年生にとっては大変である。 113
- ・教師も生徒も点数を追いかけて頑張っている。昼休み、放課後等、個人指導がすごい。 114
- ・5時間ぶっ通しのテストや調査で生徒は、疲れていた。B問題の数学の時は、あきらめて寝ていた生徒も数名いた。また、「やる気がない」とあきらめていた生徒も見かけた。 115
- ・一日4時間程度もテストを行うこと自体が負担。 116
- ・4月はテストが多すぎる。 117
- ・どの教科も難しすぎる問題はあきらめて、手をつけようとしないうちの子どもがいた。2月の基礎基本、4月の標準学力テスト、今回のテストと続けてあるので精神的負担は大きい。学校の定期テストと異なり、単に当日テストを受けるだけで順位も出ず、結果もすぐに返されないのもモチベーションが上がらない。 119
- ・連続した時間の実施は、負担が大きい。 121
- ・授業カット 124
- ・宿題が増えた。 125

4 実施に伴う教職員の負担

- ・家庭訪問期間中であつたが、その日のみ訪問の日程を変えました。 3
- ・新年度新しい学校であつたり職員の入れ替わりが多い中で、家庭訪問や学力検査・採点など、子どもにかかわる時間が取れない。 4
- ・今回は、抽出校なので採点はする必要はないが、これが希望になったとき採点・分析と教職員の負担はかなり大きい。(不可能である) 6
- ・試験中に振り回され大変である。 8
- ・授業がテストに奪われてしまう。 9
- ・係の先生が、準備等でバタバタしていた。 10
- ・自校採点で教科担当がしないので、校長がした。「教育長は予算化するつもりは全くない」と言っている。おそらく、未組織者は採点しているであろう。 12
- ・自校採点が夏休み中にかまわないというが、生徒数も多く負担が大きい。国語科採点難 13
- ・採点の扱い 14
- ・自校採点ということで、家庭訪問の忙しい時期にやらねばならず、負担が大きかった。分析についても学校でする予定になっている。 17
- ・自校採点や分析で大変になったのでは。 18 19 24
- ・希望調査での実施で自校採点となるのが、一番大変。もともとコンピューター処理となっているものを人の手ですることの負担は大きい。授業時数も減った。 20
- ・採点を学年部にまかされて負担が大きかった。 27
- ・他学年の授業とテスト監督で3年部の先生は大変負担になった。 29

- ・抽出でありながら全ての生徒の解答をコピーし学校採点をする方向で管理職から話があった。理由は、文科省の公表が遅いので、早く、自校でも採点して、指導改善に役立てるというものであった。地教委の指導があった。 33
- ・事前準備（枚数点検）と事後点検（マークシート記入のもれ）が大変。 35
- ・複式のため、5年生への対応を誰かがしなければならない。 40
- ・教頭がすべて行っていた。 41
- ・年度始めで多忙に拍車がかかっている。 42
- ・年度始めの忙しい中で、事前準備また、採点もしなければならない状況で多忙に拍車がかかる。 43
- ・採点や分析を教員がすることになるのだったら、前からの悉皆調査のほうがよかった。民主党の事業仕分けによる抽出実施も皆が手を上げるようなら、仕分けの意味もないのでは？ 44
- ・採点は教科担、それ以外は特になし。 49
- ・点検が多く煩雑である。（事務的なことが多くなる） 50
- ・担当教科のみの分析となり、負担が大きい。だからといって、全職員で取り組ませることに抵抗がある。 52
- ・採点は、夏休みに全職員で行うことになっている。 55
- ・家庭訪問時期に採点をするので多忙化。その割りに子どもに調査のみで還元できていない。 63
- ・物理的負担が大きい。 66
- ・自校採点となれば、国・数の担当が大変。数学は少人数を実施しているので担当は、3人いるが、国語は学年を1人で担当している。 67
- ・本来の授業をつぶさなければならなかった。家庭訪問の最中に行われたので、その日(4/20)は、家庭訪問をはずさなければならなかった。 68
- ・新学期の大変忙しい中、採点や分析を行わなければならない、また、日程も家庭訪問期間中に入ってきて、調整が厳しかった。事務量が増え余裕がなくなった。 70
- ・「どれだけ余計な仕事を増やしてくれるのか・・・」的な発言がある。（未組織） 74
- ・時数及び採点、集計、実態把握等、活用問題の採点基準があいまいである。 76
- ・授業時数確保といいながら、ムダなテストに時間を使っている、教科の進みがおそくなる。 81
- ・通常の負担は、当然である。（テスト処理と同程度の・・・）それよりも、当日、欠席生徒に後日受けさせる事務がかなり大変。 82
- ・授業が進まない。解説の時間が無い。 83
- ・家庭訪問時の放課後(午後の時間)に副担任が、国語、数学の採点に関わって処理。 84
- ・採点の負担が増えている。授業時数の確保。準備するために事前打ち合わせ。 85
- ・21日に家庭訪問になった。 86
- ・学年始めの授業開きも終わっていない教科がある中、しかも、教科時数として行われ、予備時数確保に困っているのに必要は感じない。 89
- ・自校で採点(夏休みまでに!) 90
- ・新年度忙しい日常で、標準学力検査も知能検査も実施するので問題冊子をクラス人数分の仕分けが全教科の分あり、放課後の時間が削られた。実施前の手引きの共通理解が必要であったり、実施後にヘッダーシートのようなものへ記録したりと・・・学校本来の仕事もあるのに、雑用が増えた気分であった。新年度なので、もつと子どもへ直接かかわっていく(語りこみ、会話を通した交流)ものではないか。事務仕事は無い方がよい。 94

- ・テストの持続と家庭訪問等の行事との重なりで、転勤してきた先生にとっては、大変だと思う。 99
- ・一日ではできないので負担が大きかった。考えながら採点しないといけないので、時間がかかり、小規模の本校でも時間がかかった。大規模校では大変だろう。 106
- ・採点をしなければならない。その採点も簡単なものではなく、作文など、採点基準をよく読まなければできないのではないかと。 104
- ・採点の時間を確保してもらっていない。 107
- ・夏休みに採点するということがあったように思う。 110
- ・国語と数学科に負担が行き過ぎないように交渉でも確認した。 112
- ・特にはなかったが、教科担で(時間割の)実施したので気をつかったと思う。 113
- ・管理職も教員も、去年の結果が数値的に非常に高かったので、更に高くしようと頑張っている(されている)様子。かなりのプレッシャーになっていると思われる。 114
- ・採点が負担 115
- ・時間割調整が大変 116
- ・自校採点の場合は、非常に忙しくなると思う。 117
- ・事後の細かい分析をさせられていた。 118
- ・採点の負担が大きい。ただでさえ授業時数の確保が大変なのに5時間も費やすだけの価値があるテストなのか。 119
- ・実施・採点・分析がどれだけ意味があることなのか考えれば考えるほど憤りを感じる。 121
- ・問題用紙が前日にしか来ないため、実施方法などが確認不足になりがちである。 123
- ・採点・分析、時間の確保はなかった。 125

5 その他 「全国一斉学力調査」に関する事で気づかれたことを書いてください

自由記述

- ・希望は学校の職員が考えるもので、地教委で希望することはおかしい。利用の仕方も、それぞれの学校で、考えられるものだと思うが、地教委や校長からの圧力が大きいと思う。 4
- ・「採点うんぬん」と言うので、私はマークシート採点用の機械ではないのでやりませんと一蹴した。学年へのアンケート(生活アンケート)は学年として無視している。3年1クラスで私が担任(数学) 5
- ・実施がほぼ全校では抽出にならない。やめるのが一番だが、抽出校のみ実施で十分。基礎基本・標準学力とあるのでやるならひとつにまとめてほしい。 7
- ・現場の意向を全く無視して実施を決めた地教委の姿に大きな問題がある。授業時数の圧迫・経費削減の面からも実施は必要ないということを職員会で述べ、校長から地教委へ必ず、そのような現場の声があるということを伝えるようお願いした。 10
- ・当日欠席者・早退者が4/18名おり、抽出校ということで、必ず受けなくてはならず、テスト終了までに数日かかってしまった。 11
- ・希望利用をしないようにしないのであれば、抽出にした意味がないのではないかと。 18
- ・学校内の印象として関心は、非常にうすい。 19
- ・希望をしてまで実施しなければならないのか。 20
- ・採点を依頼されたが、その後どうするのかまったく説明がない。 24

- ・実施後の分析のやり方がわからない。記述式の解答に対して、どう分析していったらよいか分からない。採点マニュアルみたいなものがなく困っている。実施方法についての説明がなく、本当に実施するか間際までわからなかった。鹿児島県は、全て実施になったが、その理由の説明がなく、よくわからないままの実施であった。
- ・学力を調査することにより保障することにお金を使うべき。 32
- ・いつも採点結果が遅く、指導に生かせないので、意味なし。 38
- ・養護教諭なのでよくわかりませんが、テストの受け取りや解答用紙の送付等、学校全体がバタバタしていました。個人的には、我が子が対象なので、テストと聞くと気になります。余計な気遣いをしたくありません。また、子供同士の「できた・できない」の会話も気になりました。通常のテストで十分だと思います。 40
- ・教科時数の無駄遣いである。また、費用の無駄遣いである。 43
- ・学校設置者が希望するという制度なら市町村が手を挙げたら、どんなに現場の教員が多忙を理由に反対しても結局は、実施になってしまう。これでは、政府のムダを削減する事業仕分けも有名無実である。 44
- ・国家予算のムダを省くということで、抽出調査になったと考えるが、希望した場合、結局、地方財政から予算を組むことになり仕分け作業の意味がない。 47
- ・経済的、時間的ムダ=不要 48
- ・転勤してきたばかりで十分に把握していないが、抽出かどうかの公表やよび採点等の分担等にいい連絡がなかった。 52
- ・今後も継続してあるのだろうか。 58
- ・ほとんどの職員が言われるままに何の疑問も無く実施している。自作の定期テスト作成にプライドはないのかなと思う。 59
- ・採点基準が明確でないで、学校によって差がある(甘く採点)標準学力検査があるので、やっている意味がない。 60
- ・本校は、抽出校だったが、3年生は3名しか在籍がなく(3名とも進学校希望でそれなりに学力が高いです)全国の実態(平均値等)を求めるのであれば、抽出校は中規模以上とかの学校の方がよいのにとの声が聞こえてきました。抽出の意義は大きいと思いますし、せつかく実施するのであればと思います。 62
- ・希望利用であっても実際は、地教委が判断し、結局今まで通り、何も変わらない。現場の声をもっと聞いてほしい。 64
- ・毎年する必要はない。ましてや、地教委の希望だからといって、ほぼ全校で実施することはおかしい。生徒の役にたたない。 65
- ・子どもにとって役に立つところは、ひとつもない。データが必要なら、抽出(有為数)で十分。 66
- ・採点のことは、何も決まっていなまま実施し、金庫で保管中。管理職にどうするのか考えてほしいと申し込まれてある。 67
- ・教務のバカが、標準学力検査の宅急便をわけもわからず、事務室に持ち込んできた。校長以下、アホが多い。全国調査と標準学力と知能検査がごっちゃになって迷惑。 72
- ・経費削減になっていないのでは? 73
- ・標準学テもやったばかりなのに、何の意味があるのか。教科制なので、部外者は口を出せない。 74
- ・標準学テ、基礎基本定着度調査、それから、学校内で行われている定期テスト。子どもたちは、学習

塾で行われるテスト、テストの回数が多すぎます。

- ・来年度は、是非、抽出校のみにしてほしい。 81
- ・本当に役立てたいのなら、「調査」に目的を限定し、有為数に足る規模でやってほしい。その上で浮いたお金を施策につかってほしい。(改善が乏しい) 毎日やって、あの程度のまとめしかできない調査なら、生徒でなく教師への質問紙調査で十分ではないか。現場の声に耳を傾ければ済むことだ。 82
- ・マークシートであるために、採点のために認識するためのソフトや機器が、まったくないし、採点するための時間が作れない。学校アンケート、生徒アンケートが性格にかかっているか疑問である。 85
- ・鹿児島県は、標準学力試験をしている。国・数をはずす工夫もあってよいのでは。新3年は、1月に基礎基本定着度、4月上旬標準学力テスト、そして、全国学力テストとテストのあと十分に還元もないうまま実施されている。
- ・当日朝、職朝で、「特別支援学級の対象学年の生徒1名は、欠席としてください。」との発言。校長にその理由を尋ねると、下学年の内容を学習している生徒は、省くことができるという部分があり、そこに当てはまるが、確認票の中には、そういう子どもの数を記入する欄はなかったので、欠席扱いにしたとのこと。これは、とても心を痛める事例である。出席しているにもかかわらず、欠席扱いにしかできないこの検査の不備であろうと思う。 92
- ・希望利用であるのに職員会での提案、議論がなかった。
- ・学力調査にかけるお金を校舎の補修など他に回してほしい。 97
- ・抽出するのであれば、希望など認めるべきではない。主旨が違った方向に行く恐れあり。 102
- ・問題の内容・・・例えば、理科・社会。日本全国、北から南、文化・風土等が違う中で、感じることは違う。「感性」は、その土地、生活で感じるもの。それを全国統一・一斉に押し込む感じかたを測るのはおかしい。 103
- ・地教委が予算化をしたということで、学校の希望は、生かされていない。結局、強制で実施されることになる。 113
- ・教育とは何なのか。が全く分からなくなった。教師も子も点数、点数、点数、行く着く先は、何なのか? 114
- ・希望利用調査を実施したら、抽出による実施の意味がないと思う。来年度以降は、抽出による実施だけしてほしい。 120
- ・諸行事を変更しなければならなくなっており、授業時数確保の点からも疑問を感じる。 123
- ・NRTと重なって大変。しかも忙しい時期。 25